エネルギーとエレクトロニクス
E&Eの東芝

TOSHIBA

東芝デジタルスチルカメラ取扱説明書

形名　**PDR-T20**



はじめに

このたびは東芝デジタルスチルカメラをお買いあげいただきまして、まことにありがとうございます。

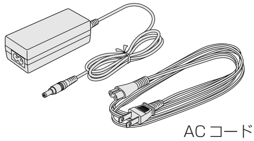
お求めのデジタルスチルカメラを正しく使っていただくために、お使いになる前にこの「取扱説明書」をよくお読みください。お読みになったあとはいつも手元においてご使用ください。

意匠、仕様、ソフトウェアおよび取扱説明書の内容は、改良のため予告なく変更することがありますのでご了承ください。

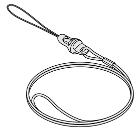
付属品一覧

本機には下記の付属品があります。お確かめください。

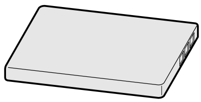
AC アダプター



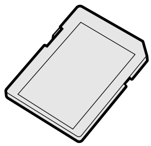
スタイラス付きネックストラップ



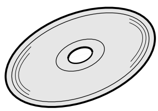
リチウムイオンバッテリー（PDR-BT3）



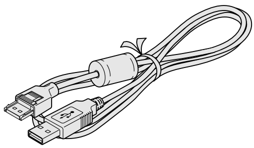
SD メモリーカード



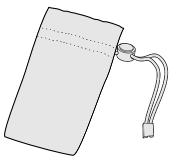
ソフトウェア CD-ROM



USB ケーブル



ソフトケース



- 保証書
- 取扱説明書（本書）
- ユーザー登録カード

ラジオ・テレビなどへの電波障害について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスB情報処理装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に接近して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

もくじ

安全上のご注意

●ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
●ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので必ず守ってください。
●表示と意味は次のようになっています。

■ 表示の説明

表　示	表　示　の　意　味
⚠危険	“取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷（*1）を負うことがあり、その切迫の度合いが高いこと”を示します。
⚠警告	“取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷（*1）を負うことが想定されること”を示します。
⚠注意	“取扱いを誤った場合、使用者が傷害（*2）を負うことが想定されるか、または物的損害（*3）の発生が想定されること”を示します。

*1：**重傷とは、失明やけが、やけど(高温・低温)、感電、骨折、中毒などで、後遺症が残るものおよび治療に入院・長期の通院を要するものをさします。**
*2：**傷害とは、治療に入院や長期の通院を要さないけが・やけど・感電などをさします。**
*3：**物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペット等にかかわる拡大損害をさします。**

■ 図記号の例

図　記　号	図　記　号　の　意　味
⃠ 禁　止	“⃠”は、**禁止**（してはいけないこと）を示します。 具体的な禁止内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。
● 指　示	“●”は、**指示**する行為の強制（必ずすること）を示します。 具体的な指示内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。

免責事項について

- 地震、火災、雷、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失、誤用、その他異常な条件下での使用により生じた損害に関して、当社は一切の責任を負いません。
- 本製品の使用または使用不能から生ずる付随的な損害（事業利益の損失・事業の中断・記録内容の変化・消失など）に関して、当社は一切の責任を負いません。
- 取扱説明書の記載内容を守らないことにより生じた損害に関して、当社は一切の責任を負いません。
- 当社が関与しない接続機器、ソフトウェアなどとの組み合わせによる誤動作等から生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- お客様ご自身または権限のない第三者が修理・改造を行った場合に生じた損害に関して、当社は一切の責任を負いません。
- 本製品に関し、当社の故意または重過失による場合を除き、いかなる場合も当社の費用負担は本製品の個品価格以内とします。

ご使用になるとき

⚠警告

異臭・発煙・過熱などの異常が発生したときは電源を切り、バッテリーや AC アダプターを取りはずすこと

そのまま使用すると火災・感電・やけどの原因となります。修理はお買い上げの販売店にご依頼ください。

プラグを抜け

異物や水などが機器の内部に入ったときは電源を切り、バッテリーや AC アダプターを取りはずすこと

そのまま使用すると火災・感電の原因となります。お買い上げの販売店にご連絡ください。

プラグを抜け

機器を落としたり、ケースを破損したときは電源を切り、バッテリーや AC アダプターを取りはずすこと

そのまま使用すると火災・感電の原因となります。お買い上げの販売店にご連絡ください。

プラグを抜け

金属類や燃えやすい物など異物を内部に入れないこと

火災・感電の原因となります。バッテリー /SD カードカバーや端子、その他の穴や隙間に、異物を入れたり落とし込んだりしないでください。

禁　止

水がかかる場所で使用しないこと

火災・感電の原因となります。雨天・降雪・海岸・水辺での使用は特にご注意ください。

水ぬれ禁止

風呂場・シャワー室で使用しないこと

火災・感電の原因となります。

風呂、シャワー室での使用禁止

ぐらついた台の上、かたむいたところなど不安定な場所に置かないこと

落ちたり、倒れたりしてけがや故障の原因となります。

禁　止

分解・改造・修理しないこと

火災・感電の原因となります。修理、内部の点検はお買い上げの販売店にご依頼ください。

分解禁止

雷が鳴りだしたら電源配線に触れないこと

感電の原因となります。

接触禁止

歩行中、自動車・オートバイなどを運転中に使用しないこと

転倒・交通事故の原因となります。

禁　止

⚠注意

航空機内で使用するときは航空会社の指示に従うこと

航空管制上、使用が制限される場合があります。

指　示

湿気・湯気・油煙・ほこりの多い場所で使用しないこと

火災・感電の原因となることがあります。

禁　止

車の中など温度が高くなる場所に放置しないこと

ケースや内部の部品に悪い影響を与え、火災の原因となることがあります。

禁　止

付属の CD-ROM を音楽用 CD プレーヤーなどで再生しないこと

ヘッドフォンやスピーカーを破損したり、耳をいためたりするおそれがあります。

禁　止

準備する
撮影する
再生/消去する
パソコンと接続する
その他

⚠注意 －つづき－

落としたり、強い衝撃を与えないこと
火災・感電・故障の原因となることがあります。
禁止

移動させるときはコードやケーブルをはずすこと
コードやケーブルが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。
指示

布や布団の上に置いたり、覆ったりしないこと
熱がこもってケースが変形し、火災の原因となることがあります。風通しのよい状態でご使用ください。
禁止

持ち運ぶときに振り回さないこと
ストラップを持って本機をぶらぶらさせると、人や物にぶつけたりしてけが・故障の原因となることがあります。
禁止

お手入れするときは、バッテリーやACアダプターをはずすこと
取りつけたまま行うと、感電の原因となることがあります。
指示

目の近くでストロボを発光させないこと
一時的な視力障害の原因となることがあります。
禁止

液晶モニターに衝撃を与えないこと
破損したり、ガラスが割れたり内部の液がでてくることがあります。内部の液が目に入ったり、体や衣服についたときはきれいな水で洗い流してください。目に入った場合は、その後医師の治療を受けてください。
禁止

2年に1度くらいは内部の掃除を販売店に相談すること
機器の内部にほこりがたまると、火災・故障の原因となることがあります。掃除費用については、お買い上げの販売店にご相談ください。
指示

ACアダプターについて

⚠警告

ACアダプターの電源プラグは家庭用交流100Vのコンセントに接続すること
交流100V以外を使用すると、火災・感電の原因となります。
指示

ACアダプターを分解・改造・修理しないこと
火災・感電の原因となります。
分解禁止

ACアダプターの電源プラグの刃や、刃の取り付け面にゴミやほこりが付着している場合は、電源プラグを抜きゴミやほこりをとること
電源プラグの絶縁低下により、火災の原因となります。
指示

通電中のACアダプターにふとんをかけたり、暖房器具の近くやホットカーペットの上に置かないこと
火災・故障の原因となることがあります。
禁止

ACアダプターのACコードは
- 傷つけたり、延長するなど加工したり、加熱したりしないこと。
- 引っ張ったり、重いものを載せたり、はさんだりしないこと。
- 無理に曲げたり、ねじったり、束ねたりしないこと。

火災・感電の原因となります。
禁止

⚠注意

ぬれた手で AC アダプターの電源プラグを抜き差ししないこと

感電の原因となることがあります。

ぬれ手禁止

AC アダプターの電源プラグをコンセントから抜くときは、コードを引っ張って抜かないこと

コードを引っ張って抜くと、コードやプラグが傷つき、火災・感電の原因となります。プラグを持って抜いてください。

引っ張り禁止

指定の AC アダプターを使用すること

指定以外の AC アダプターを使用すると、火災・故障の原因となります。

指 示

旅行などで長期間ご使用にならないときは、安全のため AC アダプターの電源プラグをコンセントから抜くこと

万一故障したとき、火災の原因となることがあります。

プラグを抜け

付属の AC アダプターを本機以外の他の用途に使用しないこと

本機以外の他の用途に使用すると、火災・故障の原因となります。

禁 止

AC アダプターの電源プラグはコンセントの奥まで確実に差し込むこと

確実に差し込んでいないと、火災・感電の原因となります。

指 示

バッテリーについて

⚠危険

指定されたバッテリーを使用すること

指定以外のバッテリーを使用すると、火災・故障の原因となります。

指 示

バッテリーにクギを刺したり、カナヅチでたたいたり、踏みつけたりしないこと

電極がショートすると、発熱・破裂・発火する原因となります。

禁 止

バッテリーの電極（+端子と−端子）を針金などの金属で接続しないこと。また、金属製のネックレスやヘアピンなどと一緒に持ち運んだり、保管しないこと

電極がショートすると、発熱・破裂・発火させる原因となります。

禁 止

バッテリーを加熱したり、分解したり、火や水の中にいれないこと

破裂・発火・発熱により、火災・大けがの原因となります。

禁 止

バッテリーを指定された充電方法以外で充電しないこと

破裂・発火の原因となります。

禁 止

リサイクル協力店へお持ち込みになるときは、+端子、−端子の電極に絶縁テープを貼ること

電極がショートすると、破裂・発火のおそれがあります。

指 示

⚠警告

バッテリーは、幼児の手の届く場所に置かないこと

バッテリーをお子様が飲み込んだりすると、中毒の原因となります。もし、飲み込んだ場合は、直ちに医師に相談してください。

禁止

バッテリーの液がもれて目に入ったときは、すぐにきれいな水で目を洗い、医師の治療を受けること

そのままにしておくと、目に障害が起きる原因となります。

指示

⚠注意

バッテリーの極性表示（＋と－の向き）に注意し、正しく入れること

入れ方を間違えると、破裂・火災・けがの原因となります。

指示

バッテリーを保管・携帯するときは、１つずつポリ袋などに入れること

そのまま保管・携帯すると、金属類でのショートにより、液もれ・発熱・破裂し、やけど・けがをする原因となることがあります。

指示

ネックストラップについて

⚠警告

ネックストラップは、幼児や子供の手の届く場所に置かないこと

あやまってストラップを首に巻き付けたりすると、窒息やけがなどの原因となることがあります。

禁止

ネックストラップをお使いのときは、電車や車のドアなどに引っかからないように注意すること

窒息やけがなどの原因となることがあります。

指示

使用上のお願いとお知らせ

ご使用の際は、「安全上のご注意」（➡ 4ページ）および次の内容をよくお読みになり、記載事項をお守りください。

取り扱いに関すること

■ 次のような場所での使用や保管は避けてください

- 湿気やゴミ、ほこりの多いところ
- 直射日光のあたるところ
- 高温または低温のところ
- 引火性の高いガスが充満しているところ
- ガソリン、ベンジン、シンナーなどの近く
- 振動の激しいところ
- 油煙や湯気の当たるところ
- 強い磁場の発生するところ（モーター、トランス、磁石のそばなど）
- 防虫剤などの薬品やゴム、ビニール製品に長時間接触するところ
- 海辺や砂地、砂ぼこりが起こるところ
  砂がかかると故障の原因になるだけではなく、修理できなくなることもあります。

■ タッチパネルを強く押さえたり、爪や硬いもの、先のとがったもので操作しないでください

- タッチパネルを傷つけることがあります。

結露（露付き）について

- 本機を寒いところから急に暖かいところに持ちこんだときなど、内部やレンズなどに水滴がつく（結露する）ことがあります。
  その場合は電源を切り、1時間ほどたってからお使いください。また、SDメモリーカードに水滴がついたときは、本機から取り出し、水滴をふき取った後しばらくたってからお使いください。

お手入れに関すること

- レンズ、液晶モニターの表面などは、傷を防ぐためにブロアーブラシなどでほこりをはらい、かわいた柔らかい布などで軽くふいてください。
- 本体は、かわいた柔らかい布などでふいてください。シンナー、ベンジンおよび殺虫剤など揮発性の物をかけないでください。変質・変形したり、塗料がはげるなどの原因となります。

使用上のお願いとお知らせ（つづき）

商標について

- MS-DOS、Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。Windows の正式名称は、Microsoft Windows Operating System です。
- Macintosh は、Apple computer, Inc. の登録商標です。
- ACDSee は、ACD Systems 社の登録商標です。
- SD ロゴは商標です。
- その他の社名と商品名は各社の商標または登録商標です。

著作権についてのご注意

デジタルカメラで記録したものは、個人として楽しむことなどを除いては、著作権法上、権利者に無断で使用、開示、頒布または展示などをすることはできません。

なお、実演や興行、展示物などの中には、個人として楽しむなどの目的であっても、撮影を制限している場合がありますのでご注意ください。また、著作権の対象となっている画像やファイルが記録されたメモリーカード(SDメモリーカード等)の転送は、著作権法で許容された範囲内でのご使用に限られますので、ご注意ください。

ソフトウェアおよび取扱説明書について

- 添付のソフトウェアおよび取扱説明書の一部または全部を、許可なく転載したり複製することはできません。
- 添付のソフトウェアおよび取扱説明書は、1 台の機器について使用できます。
- 添付のソフトウェアおよび取扱説明書により機器を使用して、お客様または第三者にいかなる損害が発生した場合にも、当社はその責任を一切負いかねますのでご了承ください。
- 取扱説明書で記載しているパソコンの画面は一例です。実際の画面と異なる場合があります。また、記載の誤りなどについての補償はご容赦ください。

ソフトウェアのバージョンアップについて

出荷以降、より良くお使いいただくために、カメラ内部のバージョンアップをする場合があります。バージョンアップの方法などは弊社ホームページに掲載いたします。

弊社ホームページ URL http://www2.toshiba.co.jp/mobileav/camera/

バッテリーの取り扱いについて

ご使用の際は、「安全上のご注意」(➡ 4ページ) および次の内容をよくお読みになり、記載事項をお守りください。

*バッテリーは出荷時にはフル充電されていません。お使いになる前に必ず充電してください。

ご使用時には

- バッテリーは使用していなくても、少しずつ放電しています。撮影の直前（1日～2日前）にバッテリーを充電してください。
- バッテリーを長く持たせるためには、できるだけこまめにカメラの電源を切ることをおすすめします。
- 寒いところでは、バッテリーの特性上、十分に充電されたバッテリーを使用しても、使用時間が短くなります。バッテリーをポケットに入れて暖かくしておいたり、予備のバッテリーを用意するなどしてください。
- 端子部は常にきれいにしておいてください。
- 長時間、バッテリーを使用していると、カメラ本体やバッテリーが熱を帯びますが、故障ではありません。
- 常温（25℃）で使用した場合、約300回以上繰り返して使えます。十分に充電しても、使用できる時間が著しく短くなったときは、新しいバッテリーをお求めください。

バッテリーを使用しないときは

- バッテリーを使用しないときは、必ず本体からはずしてください。つけたままにしておくと、電源が切れていても微量の電流が流れていますので、過放電になり、使用できなくなるおそれがあります。
- しばらくバッテリーを使用しない場合は、使い切った状態で保存してください。充電した状態で長期間保存すると特性が劣化することがあります。
- 長期間保存する場合は、年に1回程度充電した後、使い切ってから保存してください。
- 涼しいところに保管してください。周囲の温度が15℃～25℃の乾燥したところをおすすめします。極端に暑いところや寒いところは避けてください。

充電について

- 初めてご使用になるときや長期間ご使用にならなかったときは、ご使用の前に必ず充電してください。
- 充電するときは必ず指定のACアダプターをご使用ください。
- バッテリーを充電する前に、放電したり、使いきったりする必要はありません。
- 充電が終わった後や使用直後に、バッテリーが熱を持つことがありますが、異常ではありません。
- 充電は周囲の温度が＋5℃～＋40℃の範囲で可能ですが、バッテリーの性能を十分に発揮させるために、約＋10℃～＋30℃の範囲で充電することをおすすめします。
- 充電が完了したバッテリーを再充電しないでください。

バッテリーのリサイクルについて

- 不要になったバッテリーは、貴重な資源を守るために廃棄しないで充電式電池リサイクル協力店へお持ちください。
  お持ち込みになるときは、＋端子、－端子の電極に絶縁テープを貼り、地方自治体の条例や規則に従ってください。

Li-ion

仕様

リチウムイオンバッテリー（PDR-BT3）

公称電圧：3.7V
公称容量：1035mAh
使用温度：5℃～＋40℃
本体外形寸法：35.2mm X 53.0mm X 7.0mm（幅／高さ／奥行き）
質量：約28g

ACアダプターについて

必ず指定のACアダプターをご使用ください。それ以外のACアダプターを使用すると、故障の原因となることがあります。

ご使用の際は、「安全上のご注意」(➡4ページ) および次の内容をよくお読みになり、記載事項をお守りください。

- ACアダプターの接点部に、他の金属が触れないようにしてください。ショートする危険があります。
- 接続するときは、ACアダプター本体のプラグを本機のDC IN 5V端子にしっかり差し込んでください。
- ACアダプターのコードを抜くときは、本機の電源を切り、プラグを持って抜いてください。コードを引っ張らないでください。
- 落としたり、強い衝撃をあたえないでください。
- 高温多湿のところでは使用しないでください。
- バッテリー動作中にACアダプター本体のプラグを差し込まないでください。一度電源を切ってから差し込んでください。
- ACアダプターは室内専用です。
- ACアダプターは本機以外には使用しないでください。
- 使用中、ACアダプターが熱くなることがありますが、故障ではありません。
- 内部で発振音がすることがありますが、異常ではありません。
- ラジオの近くで使用すると、雑音が入る場合がありますので、離してお使いください。
- 本機が動作中にバッテリーまたはACアダプターをはずすと、日時が保持されないことがあります。日時を設定し直してください。

仕様

ACアダプター(CEX0107A)

電源	: AC100~240V　50/60Hz
定格入力容量	: AC100V 33VA(電気用品安全法)
定格出力	: DC5V 3A
使用温度	: 0℃~+40℃
保存温度	: −20℃~65℃
最大外形寸法	: 40mm X 30.5mm X 94.2mm(幅/高さ/奥行き)
本体質量	: 約150g
ACコード長さ	: 約2m

お知らせ

- 付属のACコードは日本国内向け(AC100~125V)です。海外で使用する場合は、使用する地域の規格に適合したACコードをご使用ください。

SD メモリーカードについて

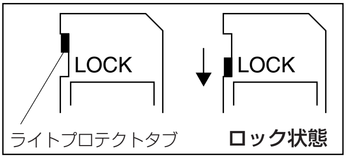
SD メモリーカードは、本書中では「SD カード」と記述します。
付属の SD カードの取り扱いについては、以下の点にご注意ください。

ご使用上の注意

- SD カードは不揮発性の半導体メモリー（NAND 型フラッシュ EEP-ROM）を内蔵しています。通常のご使用で記録したデータが破壊（消滅）することはありませんが、誤った使い方をするとデータが破壊（消滅）することがあります。記録されたデータの破壊（消滅）については、故障や損害の内容・原因に関わらず当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
- SD カードはメモリーの一部を SD カードに基づくシステム領域として使用するため、ご使用いただけるメモリー容量は表示の容量より少なくなっています。
- 付属の SD カードはフォーマット済みですので、そのままご使用になれます。画像やフォルダを消去するためにフォーマットする場合は、必ず本機でフォーマットを行ってください。SD ロゴマークがついていない他の機器(パソコン等)でフォーマットを行うと、データの書きこみ、あるいは読み出しができないなどの不具合が発生することがあります。
- 大切なデータはバックアップを取っておくことをおすすめします。
- SD カードには寿命があります。長時間使用するうちに書き込みや消去ができなくなった場合は、新しい SD カードをお求めください。

誤消去防止について

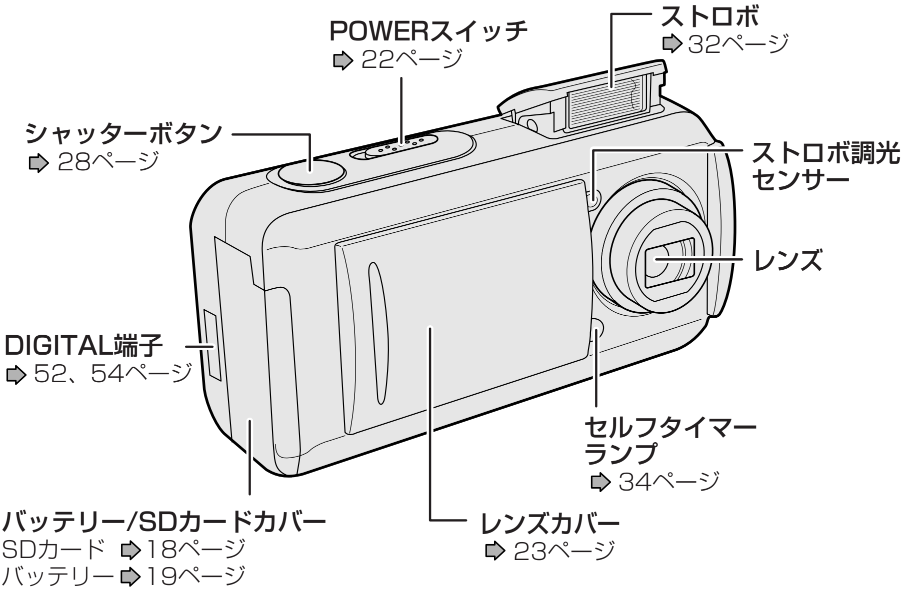
大切なデータを誤って消去しないために、カード側面のライトプロテクトタブを「LOCK」に切り換えると、書き込み禁止状態（ロック状態）にすることができます。記録、編集、消去するときはロック状態を解除してください。

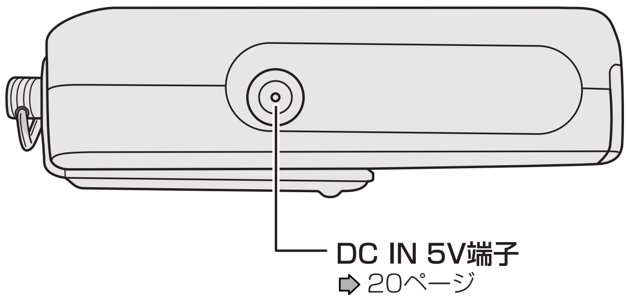


仕様

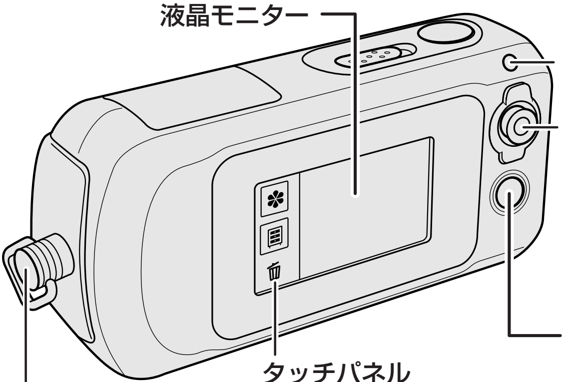
メモリーの種類：NAND 型フラッシュメモリー
動作温度　：0 ～ 55 ℃
保存温度　：－ 20 ～ 65 ℃
動作 / 保存湿度：30 ～ 80%（結露しないこと）
外形寸法　：24.0mm X 32.0mm X 2.1mm （幅 X 高さ X 奥行き）
質量　：約 2g

各部のなまえ





撮影する
再生/消去する
パソコンと接続する
その他



液晶モニター

インジケーター*

ENTER/方向ボタン

ENTERボタン
　中央を押して、選んだ項目や画像などを決定します。

方向(▲/▼/◀/▶)ボタン
　それぞれの方向に押して、項目や画像などを選びます。

モードボタン

➡26ページ

タッチパネル

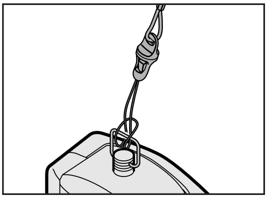
➡16ページ

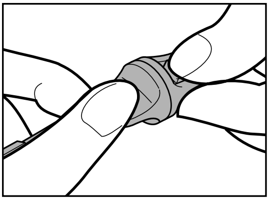
[✿] ディスプレイキー
[▤] メニューキー
[🗑] 消去キー

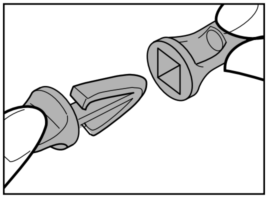
ストラップ取付け部

図のようにストラップを取り付けます。

スタイラス付きネックストラップは、図のようにバックルを取りはずすと、スタイラスとして使用できます。
バックルをはめるときは、カチッと音がするまで確実に差し込んでください。確実に差し込まれていないと、はずれて本機が落下するおそれがあります。







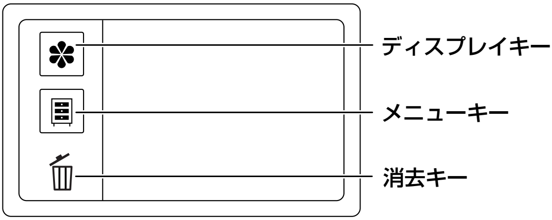
＊ インジケーター

状況によってインジケーターの点灯 / 点滅は異なります。

色	状態	電源オフ時	撮影時	再生時	パソコン接続時
緑	点灯	バッテリー充電完了	AF 正常ロック（手ぶれ警告なし）	―	PC モード（接続中）
	点滅	―	AF 正常ロック（手ぶれ警告あり）	―	―
赤	点灯	バッテリー充電中	SD カードアクセス中	SD カードアクセス中	SD カードアクセス中
	点滅	バッテリー充電エラー	AF ロック失敗	―	―
橙	点灯	―	ストロボ充電中	―	マウントされていないなど、その他の状態
	点滅	―	本機の異常	―	―

タッチパネルについて

本体の方向ボタンやモードボタン以外にも、タッチパネル上のキーでさまざまな操作が行えます。それぞれの機能については、参照ページをご覧ください。



■[✽（ディスプレイ）] キー（➪ 29、40ページ）

アイコンの表示/非表示を切り換えます。モードによって、表示されるアイコンは異なります。

モード	アイコン	項　目	内　容	ページ
撮影		シーンモード	撮影する状況を選びます。	30
		ストロボ	ストロボの発光方法を設定します。	32
		セルフタイマー	セルフタイマーの時間を設定します。	34
再生		ズーム	画像を拡大して再生します。	42
		サムネイル	画像を縮小して一覧で表示します。	41

■[▤（メニュー）] キー（➪ 36、60ページ）

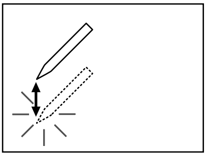
メニュー画面の表示/非表示を切り換えます。モードによって、表示されるメニューは異なります。
また、セットアップはどちらのモードからでも選べます。

モード	アイコン	項　目	内　容	ページ
撮影		撮影プレビュー	撮影後のプレビューを設定します。	37
	AUTO	ホワイトバランス	色のバランスを設定します。	37
		カラー	撮影時の色を選びます。	37
		クオリティ	画像サイズと画質を選びます。	37
	200	感度	ISO 感度を設定します。	37
		液晶明るさ	液晶モニターの明るさを設定します。	37
		セットアップ	環境設定を行います。	60
再生		スライドショー	連続で画像を再生します。	43
		ペイント	画像に文字などを書き込めます。	44
	i	インフォメーション	表示している画像の撮影日時やサイズなどが見られます。	–
		プロテクト	大切な画像をプロテクトします。	46
		DPOF	DPOF を設定します。	62
		液晶明るさ	液晶モニターの明るさを設定します。	37
		セットアップ	環境設定を行います。	60

■[🗑 （消去）] キー（➪ 47、48ページ）

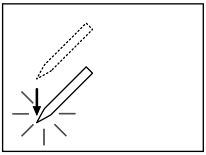
撮影した画像を消去したり、SDカードをフォーマット（初期化）することができます。

タッチパネル上では、以下のような操作方法があります。



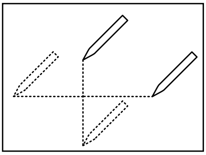
タップする

タッチパネル上のアイコンなどに軽く触れて離す操作です。アイコンやメッセージを選ぶときなどに使います。



タップアンドホールド

タッチパネル上のアイコンなどをタップして押し続ける操作です。液晶の明るさを変えるときなどに使います。



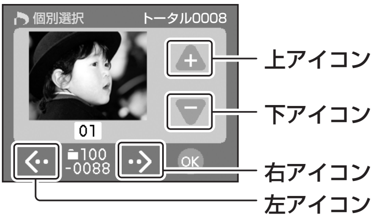
ドラッグする

指定したエリアでタップしたまま上下または左右などに動かす操作です。スライダーを動かすときなどに使います。

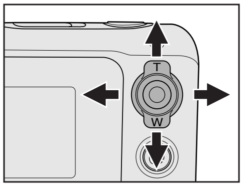
タッチパネル上のアイコンは、本体の方向ボタン（▲ / ▼ /◀ / ▶）で選び、ENTER ボタンで確定することもできます。

例

〈液晶モニター〉



〈本体方向ボタン〉



お知らせ

- 「✽」、「目」、「🗑」以外のアイコンは、起動しているモードや状態によって異なります。
- タッチパネルは指でも操作できますが、付属のスタイラスを使用すると操作ミスを軽減できます。
- ドラッグしたときに移動が早いと反応しない場合があります。

■タッチパネルのセットアップ

タッチパネルをタップしたときの位置と反応がずれているときは「タッチパネルのセットアップ」で調整してください。詳しい操作の手順は「環境設定を変更する」（➡61ページ）をご覧ください。

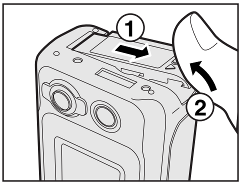
SD カードを入れる・取り出す

本機で撮影した画像は SD カードに記録されます。本機に SD カードがセットされていない状態では、撮影できません。

● 準備

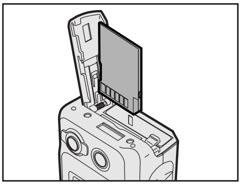
SD カードの抜き差しを行う前に、本機の電源を切ってください。

1 バッテリー /SD カードカバーを開ける



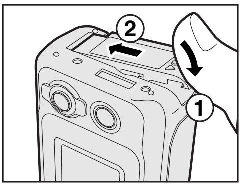
バッテリー /SD カードカバーを矢印の方向にスライドして ①、持ち上げます ②。

2 図のように正しい向きで SD カードを入れる



カードの金属面をタッチパネル側に合わせ、しっかり奥まで差し込んでください。

3 バッテリー /SD カードカバーを閉める



バッテリー /SD カードカバーを閉め ①、矢印の方向にスライドします ②。

カバーが確実に閉まっていることをご確認ください。

■ SD カードを取り出すには

バッテリー/SDカードカバーを開け、一度カードを押し込み、カードが少し出てきたら、ゆっくり引き抜いてください。

ご注意!

- SDカードへ記録中（インジケーターが点灯中）は、絶対にバッテリー/SDカードカバーを開けたり、SDカードを取り出さないでください。SDカードまたはSD カードのデータが壊れることがあります。
- 他の機器で使用したSDカードを使うときは、撮影する前に必ずフォーマットを行ってください（⇨48 ページ）。
- 本機は MultiMediaCard™（マルチメディアカード）には対応していません。

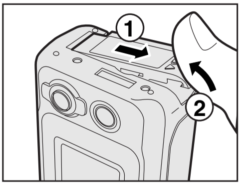
バッテリーを入れる・取り出す

本機では、専用の充電式リチウムイオンバッテリー（PDR-BT3）を使用します。本書中では「バッテリー」と記述します。これ以外のバッテリーは使用できません。本機を使用する前には充電を行ってください。

● 準備

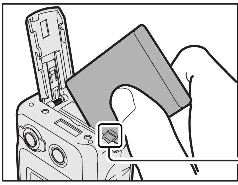
電源が切れていることをご確認ください。電源が入った状態でバッテリーを取り出すと、故障や大切なデータが壊れる原因となることがあります。

1 バッテリー /SD カードカバーを開ける



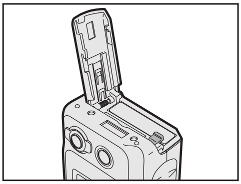
バッテリー /SD カードカバーを矢印の方向にスライドして①、持ち上げます②。

2 図のようにに正しい向きでバッテリーを入れる



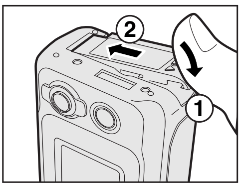
バッテリーロックレバー

バッテリーロックレバーをタッチパネル側に倒しながら、バッテリー表面に貼られたラベル上の矢印と本体の矢印の向きが合うように、バッテリーを入れます。



バッテリーが奥まで入るとロックされます。

3 バッテリー /SD カードカバーを閉める



バッテリー /SD カードカバーを閉め①、矢印の方向にスライドします②。

カバーが確実に閉まっていることをご確認ください。

■ バッテリーを取り出すには

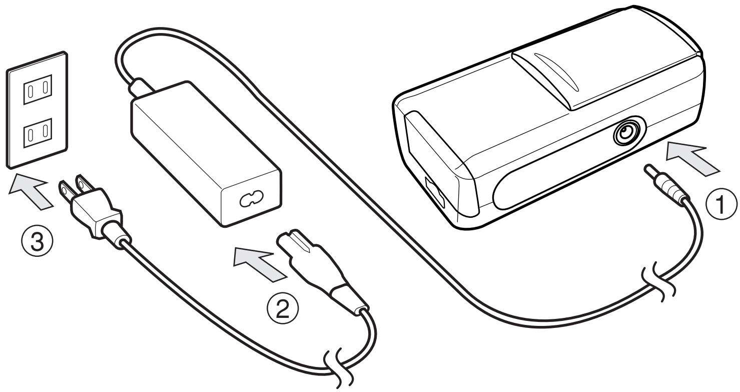
バッテリー /SD カードカバーを開け、バッテリーロックレバーをはずし、バッテリーが少し出てきたら、ゆっくり引き抜いてください。

充電する

本機を屋内で長時間ご使用になるときや、パソコンへ画像を転送するときなどは、AC アダプターのご使用をおすすめします。

● 準備

電源が切れていることを確認し、本機にバッテリーをセットしてください。



1 接続プラグを DC IN 5V 端子に差し込む

2 AC コードを AC アダプター本体に差し込む

3 AC コードのプラグをコンセントに差し込む

本機の充電が始まると、インジケーターが赤色に点灯します。充電が終了すると、インジケーターが緑色に変わります。また、充電中に異常が発生すると、インジケーターが赤色に点滅します。

ご注意!

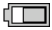
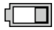
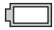
- 充電中に異常が発生した場合は、AC コードのプラグをコンセントから抜き、バッテリーを本体から外してください。
- ACアダプターの抜き差しは、必ず本体の電源を切ってから行ってください。電源が入った状態で行うと、バッテリーが入っている状態であっても、故障や大切なデータが壊れる原因となることがあります。
- 正常な終了動作をしないでACアダプターを使用した場合、正常に起動しないことがあります。この場合はもう一度電源を入れ直してください。
- 炎天下など温度が高い状況で使用したときは、本機が熱を持つため内部センサーが動作して、充電がすぐに始まらない場合があります。この場合は本機の熱を十分に冷ましてから充電してください。

お知らせ

- はじめてお使いになるときは､バッテリーを充電してからご使用ください｡バッテリーを充電するには、本機にバッテリーをセットし、充電します。約４時間で充電できます。
- 正常な終了動作をしないでバッテリーを装着した場合､正常に起動しないことがあります。この場合はもう一度電源を入れ直してください。
- バッテリーは、周囲温度が 10 ～ 30℃の環境で充電してください。

■ バッテリー残量表示

電源を入れると、液晶モニターにバッテリー残量が表示されます。

表示				
意味	充分残っています	少なくなっています	ほとんど残っていません	残量がありません

バッテリーの消耗について

バッテリーの保存期間、本機や電池の温度、撮影条件（ストロボ使用の有無等）により、バッテリーの消耗は大きく変動します。また、電池の＋極、－極、および電極に接する本機の端子が汚れておりますと、電流が流れにくくなり、本機はバッテリー残量がないものと判断してしまいます。バッテリーを出し入れするときには、これらの部分に触らないようにご注意ください。汚れていた場合は、乾いた布などで汚れをふき取ってください。

付属のリチウムイオンバッテリーを使用した場合、撮影枚数は以下のようになります。

条件：25℃、ストロボ使用率 100%

撮影間隔：30 秒ごとに 1 枚撮影

撮影枚数：120 枚

※ここに記載した撮影枚数は参考値です。

バッテリーの上手な使いかた

- 本機は電源が切れている状態でも微弱ながら電流を消費します。長時間使用しない場合はバッテリーを取り外しておくことをおすすめします。約一週間程度取りはずしておくと、日付・時刻やその他の設定が初期設定に戻ることがあります。ご使用になる前に再度設定してください。
- 寒冷地で使用するときは、本機やバッテリーを防寒具や衣服の内側に入れるなどして保温しながら使用してください。
  低温のため低下したバッテリーの性能は、常温（約 25℃）に戻ると回復します。

電源を入れる・切る

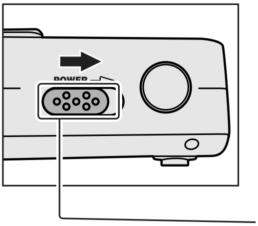
電源を入れたとき、レンズカバーの状態によって起動するモードが異なります。

● 準備

バッテリーとSDカードを入れてください。「SDカードを入れる・取り出す」➪18ページ、「バッテリーを入れる・取り出す」➪19ページ、「充電する」➪20ページ

電源を入れる

POWER スイッチを矢印の方向へスライドする



POWER スイッチ

インジケーターが橙色に点灯し、本体が起動します。

電源を入れたときのモードは、状況によって異なります。

レンズカバーが開いているとき：**撮影モード**

レンズカバーが閉じているとき：**再生モード**

パソコンと接続しているとき　：**PC モード**
（➪52、54 ページ）

お知らせ

- 電源が入っている状態で何も操作をせずに設定した時間が経過すると、自動的に電源が切れます。
  「オートパワーオフ」➪61 ページ
- 電源を入れたとき、ストロボ充電に数秒かかることがあります。ストロボ充電中はインジケーターが橙色点灯します。ストロボ充電中は撮影できません。充電が完了してから撮影してください。

■ 電源を切るには

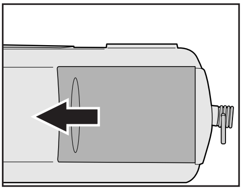
電源が入っているとき、POWER スイッチをスライドします。

レンズカバーを開く・閉じる

撮影するには、レンズカバーを開きます。撮影しないときは、レンズカバーを閉じてレンズを守ります。

レンズカバーを開く

矢印の方向にスライドする

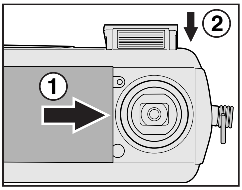


レンズカバーをスライドすると、ストロボがポップアップします。

レンズカバーを完全に開き、この状態で電源を入れると、レンズが自動的に出て、**撮影モード**で起動します。

レンズカバーを閉じる

矢印の方向に少しだけスライドする



警告音が鳴り、しばらくすると自動的にレンズが戻り、**再生モード**に切り換わります。レンズが完全に戻ってから、レンズカバーをスライドして閉じてください。① このときストロボは自動で戻りません。カチッとロックされるまで、指で押し下げてください。②

ご注意!

- レンズ動作中はレンズカバーを動かさないでください。故障の原因となります。

お知らせ

- レンズカバーが開いていると、ストロボは押し下げても閉じません。ストロボを閉じるにはレンズカバーを閉じてください。
- USBケーブルで本機とパソコンを接続していると、レンズカバーの状態にかかわらず、PC モードで起動します。

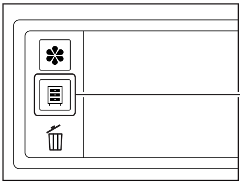
日付や時刻を設定する

初めて使用するときや、バッテリーを入れずに長時間放置したときに電源を入れた場合は、メッセージが表示された後に手順４の画面が表示されます。

● 準備

バッテリーと SD カードをセットし、電源を入れてください。

1 [ ]キーをタップする



メニュー画面が表示されます。

メニューキー

2 [ ]アイコンをタップする



セットアップアイコン

3 [ ]アイコンをタップする



日時設定画面が表示されます。

日時設定アイコン

4 設定したい項目をタップする



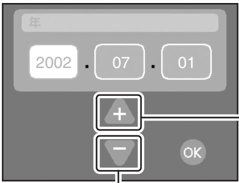
設定画面が表示されます。

年月日を設定します。

時間を設定します。

表示する書式を設定します。
書式は３パターンの中から選べます。

5 項目を選び、[+] / [−] アイコンをタップする

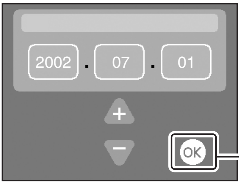


上アイコン

下アイコン

タップするたびに数字が切り換わります。
本体の方向ボタン(▲ / ▼)を押しても切り換わります。
または、タップアンドホールドしても数字が切り換わります。

6 [OK] アイコンをタップする



OK アイコン

設定画面が表示されます。

7 [↩] アイコンをタップする



リターンアイコン

項目が設定され、元の画面に戻ります。
本体の方向ボタン（▲ / ▼ /◀ / ▶）で[↩]を選び、ENTER ボタンを押しても、元の画面に戻ります。

お知らせ

- [🔧]アイコンは、撮影モード / 再生モードのどちらのメニュー画面からでも選べます。➡ 16 ページ
- 日付や時刻設定は以下のようなときに必要です。
  －初めて使用するとき
  －バッテリーを入れずに約 1 週間放置したとき
  （AC アダプターで約 1 時間以上充電されている場合）

モードを切り換える（撮影 ←→ 再生）

撮影モードと再生モードを切り換えるには、2 つの方法があります。

レンズカバーを使う

レンズカバーを開閉するたびに、撮影モードと再生モードが切り換わります。

モードボタンを使う

モードボタンを押すたびに、撮影モードと再生モードが切り換わります。

お知らせ

- USBケーブルが接続されているときは、モードボタンやレンズカバーを使っても、撮影 / 再生モードに切り換えられません。

撮影する

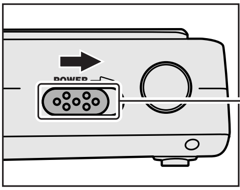
撮影する

液晶モニターを見ながら撮影します。

● 準備

バッテリーと SD カードをセットし、レンズカバーを開いてください。

1 電源を入れる



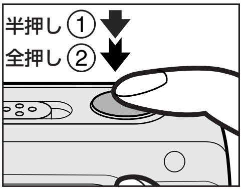
撮影モードで起動します。➡23 ページ

POWER スイッチ

2 液晶モニターを見ながら構図を決める

液晶モニターにはレンズからの画像が表示されます。液晶モニターが暗いときなどは明るさの調整をしてください。「液晶明るさ」➡37 ページ

3 シャッターボタンを半押しする ①（軽く押して途中で止める）



半押しでピントと露出が自動的に固定されます。適正値で固定されると音が鳴り、インジケーターが緑色に点灯または点滅します。（オートフォーカス正常ロック）

4 半押しした状態からシャッターボタンをさらに押す②（全押し）

撮影された画像は、SD カードに記録されます。

お知らせ

- ピントまたは露出が適正値にならなかった場合は音が鳴り、インジケーターが赤色で点滅します。（オートフォーカスエラー）この場合、ピントは無限遠（ストロボ使用時は 1.5m）、露出は一番近い値に固定されます。シーンモードがマクロに設定（➡31 ページ）されていて、ストロボが発光しないときは、ピントは 10cm（Wide 端）から 27cm（Tele 端）の間で固定されます。

ご注意！

- 撮影するときには、レンズやストロボ、ストロボ調光センサーにストラップや指などがかからないようにしてください。
- SDカードへ画像を記録している時は、インジケーターが赤色に点灯します。インジケーターが点灯中は、バッテリー／ SD カードカバーを開けないでください。SD カードや SD カードのデータが壊れる場合があります。

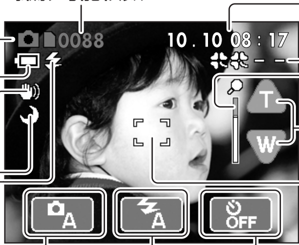
ディスプレイ画面の表示 / 非表示を切り換える

ディスプレイ画面を表示すると、設定されている撮影モードの状態を表示できます。

撮影モード中、[✽] キーをタップする

ディスプレイ画面の表示 / 非表示が切り換わります。ディスプレイ画面は、しばらく何も操作しない状態が続くと、自動的に表示が消えます。

例



お知らせ

- 被写体の画像の細かさなどによって、記録されるデータ量が異なるため、記録後の撮影可能枚数が減らない、または 2 枚分減る場合があります。
- 液晶モニターには、常に明るい点、暗い点、色がついている点などが見える場合がありますが、故障ではありません。記録される画像には、このような点はありません。

■ 撮影可能枚数について

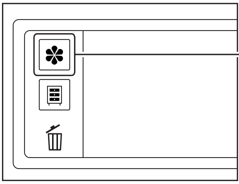
SD カードに記録できる目安は以下の通りです。

クオリティ	✽✽✽✽ （ハイクオリティ）	✽✽✽－ （スタンダード）	✽✽－－ （エコノミー）	✽－－－ （VGA）
画像サイズ	1600x1200	1600x1200	1024x768	640x480
圧縮モード	高画質	標準画質	標準画質	標準画質
ファイルサイズ（最大）	960KB	480KB	256KB	128KB
8MB	6	13	25	51
16MB	15	30	56	112
32MB	31	63	118	236
64MB	64	129	242	484
128MB	130	261	489	978
256MB	260	520	975	1950

シーンモードを設定する

人物や風景、夜景など、撮影する被写体に合わせて自動的に最適な設定を行います。

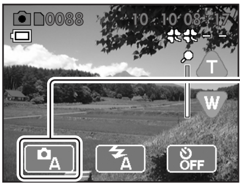
1 撮影モード中［ ✽ ］キーをタップする



ディスプレイ画面が表示されます。

ディスプレイキー

2 ［ 🅰 ］アイコンをタップする



シーンモードアイコンが一覧表示されます。

現在設定されているシーンモードアイコンが表示されます。
タップすると、シーンモードアイコンが一覧表示されます。

3 設定したいアイコンをタップする



シーンモードについて、詳しくは➡31ページをご覧ください。

シーンモードが選択され、ディスプレイ画面に戻ります。

タップすると、ディスプレイ画面に戻ります。

お知らせ

- 設定した内容は、電源を切ったり、オートパワーオフが働いても保持されています。

シーンモードについて

シーンモードには、以下の８種類があります。

[ ] オート

カメラにまかせて気軽に撮影したいときに選びます。
使用可能なストロボ： お好みに合わせて選べます

[ ] 人物

人物を撮影したいときに選びます。
使用可能なストロボ： オート［ ］

[ ] 人物＋風景

人物と風景の両方にピントを合わせたいときに選びます。
使用可能なストロボ：オート［ ］

[ ] 風景

風景などを撮影したいときに選びます。夜景の場合も、このモードで撮影してください。
フォーカスは無限遠に固定されます。
使用可能なストロボ： 発光禁止［ ］

[ ] マクロ

距離が 50cm 以内の被写体を撮影したいときに選びます。
ピントの合う距離は、次の通りです。
Wide（広角）： 10cm ～無限遠　Tele（望遠）： 27cm ～無限遠
使用可能なストロボ：お好みに合わせて選べます

[ ] スポーツ

動きの速い被写体などを撮影したいときに選びます。
使用可能なストロボ： 発光禁止［ ］

[ ] 人物＋夜景

夕暮れや夜景などを背景にして、人物を撮影したいときに選びます。
使用可能なストロボ： 強制発光［ ］

[ ] マルチ

動きのある被写体を連続して 16 回撮影したいときに選びます。撮影した 16 枚は、１つの画像として保存されます。クオリティは［ ］に固定されます。
使用可能なストロボ：発光禁止［ ］

お知らせ

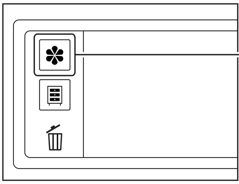
- シーンモードの説明は一般的な目安です。お好みに合わせて設定してください。

準備する
撮影する
再生/消去する
パソコンと接続する
その他

ストロボを設定する

ストロボを設定して撮影します。ストロボの発光は、撮影する状況に応じて選べます。

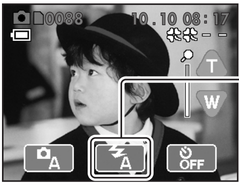
1 撮影モード中、[✽]キーをタップする



ディスプレイ画面が表示されます。

ディスプレイキー

2 [ ] アイコンをタップする



ストロボアイコンが一覧表示されます。

現在設定されているストロボアイコンが表示されます。

3 設定したいアイコンをタップする



ストロボ設定について詳しくは、➩33 ページをご覧ください。

ストロボが設定され、ディスプレイ画面に戻ります。

タップすると、ディスプレイ画面に戻ります。

お知らせ

- ストロボ撮影範囲は、約 0.5m ～ 2.8m（ISO 200、Wide 端の場合）です。
- 一度撮影すると、次のストロボ充電に数秒かかることがあります。ストロボ充電中はインジケーターが橙色で点灯します。この間は撮影できません。充電が完了してから撮影してください。
- 設定されているシーンモードによっては、ストロボが選べない場合があります。➩31 ページ
- 撮影中にシャッターボタンを半押しすると、ストロボが発光する場合は、[ ] アイコンが表示されます。

ストロボについて

ストロボ機能には、以下の４ 種類があります。

[ ] オート

暗いところなど、状況に応じてストロボが自動的に発光します。

[ ] 強制発光

必ずストロボが発光します。蛍光灯などの人工照明下や逆光で撮影するときに選びます。

[ ] 発光禁止

ストロボは発光しません。室内照明を利用しての撮影、または舞台や室内競技など、ストロボの光が届かない距離で撮影するときに選びます。

[ ] 赤目軽減

暗いところで人物をストロボ撮影すると、目が赤くなる場合があります。これは赤目現象といい、ストロボの光が目の中で反射するために起こります。赤目軽減を選ぶと、撮影前にストロボがプレ発光し、赤目現象を起こりにくくします。また、撮影するときに被写体（人）に本機へ視線を向けてもらったり、近づいて撮影すると効果があがります。

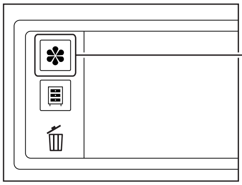
お知らせ

- 室内や暗い場所などで撮影する場合、シャッタースピードが遅くなり、液晶モニターに[(手ぶれ警告)]アイコンが表示されることがあります。手ぶれ防止のために、台の上などに固定して撮影することをおすすめします。
- 風景モードで夜景などの暗い場所を撮影する場合、[ ]アイコンと同時に[(長時間露光)]アイコンが表示されることがあります。この場合、特別な処理を行っているため、通常よりも２倍以上の時間がかかります。シャッター速度が通常よりも更に遅くなりますので、本機を固定して撮影してください。
- 設定した内容は、電源を切ったり、オートパワーオフが働いても保持されています。

セルフタイマーで撮影する

セルフタイマーを設定すると、集合写真などで、自分も一緒に写ることができます。

1 撮影モード中、[✽]キーをタップする



ディスプレイ画面が表示されます。

ディスプレイキー

2 [OFF] アイコンをタップする



セルフタイマーアイコンが一覧表示されます。

現在設定されているセルフタイマーアイコンが表示されます。

3 設定したいアイコンをタップする



セルフタイマーが設定され、ディスプレイ画面に戻ります。

[10]：シャッターボタンを押してから、約 10 秒後に撮影されます

[2]：シャッターボタンを押してから、約 2 秒後に撮影されます

[OFF]：セルフタイマーを設定しません

タップすると、ディスプレイ画面に戻ります。

4 シャッターボタンを半押し、全押しする

セルフタイマーランプが点灯した後、点滅に変わり、設定時間後に自動的に撮影されます。

途中でやめるときは、方向ボタン（▼）を押します。

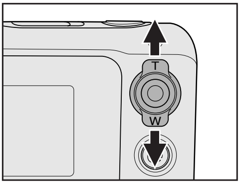
お知らせ

- セルフタイマーは、撮影するごとに自動的に解除されます。また、電源を切ったり、モードを切り換えたり、オートパワーオフ機能が働いても、自動的に解除されます。

ズーム撮影する

液晶モニターに映る被写体を、最大４倍まで拡大して撮影できます。

1 ズームする大きさを決める

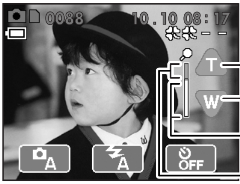


［T (Tele)］側に押すと倍率が上がります。

［W (Wide)］側に押すと倍率が下がります。

画面上のズームアイコン（T / W）をタップアンドホールドしても、倍率を変えられます。

ズームオフから２倍へは光学ズームで切り換わり、２倍から４倍へはデジタルズームで切り換わります。



2 シャッターボタンを半押し、全押しする

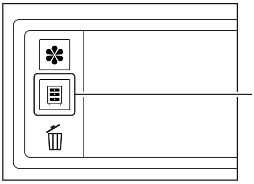
お知らせ

- デジタルズーム撮影は見かけ上の倍率を上げるので、拡大すると画質は粗くなります。
- 撮影が終わってもズーム倍率は変わりません。
- ズーム倍率は電源を切る、またはオートパワーオフが働くと自動的に解除されます。

撮影メニューの設定を変更する

撮影するときの設定を、お好みに合わせて変更できます。

1 撮影モード中、[ ]キーをタップする



メニュー画面が表示されます。

2 設定したい項目のアイコンをタップする



設定する項目について詳しくは、次のページをご覧ください。

3 設定したい内容のアイコンをタップする

例：撮影プレビューを設定する場合



内容が設定され、メニュー画面に戻ります。

設定する内容について詳しくは、次のページをご覧ください。

他の項目や内容を続けて設定するときは、2、3の手順を繰り返します。

4 [ ]アイコンをタップする

撮影モードに戻ります。

お知らせ

- メニュー画面が表示されているときに[ ]キーをタップしても、撮影モードに戻ります。
- 設定した内容は、電源を切ったり、オートパワーオフが働いても保持されています。

撮影メニュー項目

[ ]撮影プレビュー

撮影直後に、画像を約 2 秒間液晶モニターに表示するかどうかを設定します。

[ ]：プレビュー画面を表示します。
[ ]：プレビュー画面を表示しません。

[AUTO]ホワイトバランス

人間の目は、照明が変化しても白い被写体は白く見えるという順応性を持っています。しかし、カメラなどでは被写体周辺の光の色に合わせて色のバランスをとらないと、白い被写体を白く撮影できません。この色の調整のことを「ホワイトバランスを合わせる」といいます。ここでは、特定の照明で撮影するときのホワイトバランスを設定します。

[AUTO]：自動で調整します。
[ ]：屋外（はれ）での撮影
[ ]：屋外（くもり）での撮影
[ ]：クールホワイト色蛍光灯下での撮影
[ ]：標準色蛍光灯下での撮影
[ ]：白熱灯下での撮影

[ ]カラー

撮影する画像の色を設定します

[ ]：カラー画像で撮影します。
[ ]：白黒画像で撮影します。
[ ]：セピア画像で撮影します。

[ ]クオリティ

画像サイズと画質の組み合わせを選べます。サイズが大きくて画質が高いほど画質は美しくなりますが、それに伴い容量も増えるので、撮影できる枚数が減ります。

[ ]：ハイクオリティ　1600 x 1200 ピクセルで高画質
[ ]：スタンダード　1600 x 1200 ピクセルで標準画質
[ ]：エコノミー　1024 x 768 ピクセルで標準画質
[ ]：VGA　640 x 480 ピクセルで標準画質

[200]感度

撮影時のISO感度を設定します。ISO感度は数字が増えるほど感度が上がります（少ない光でも明るく撮影できます）が、ノイズも増えます。

[100]：ISO100 相当の感度で撮影します。
[200]：ISO200 相当の感度で撮影します。
[400]：ISO400 相当の感度で撮影します。

お知らせ

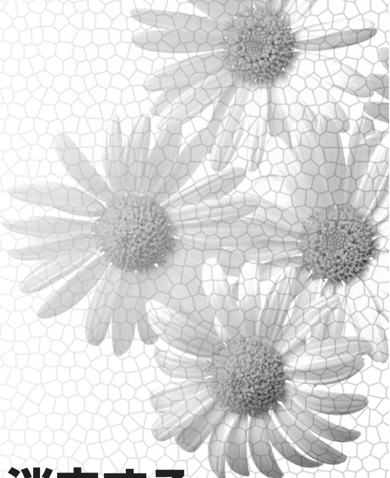
- 200 / 400では、ISO 感度の数値は固定されません。ISO100 ～ ISO200 または ISO100 ～ ISO400 の範囲で自動的に設定されます。

[ ]液晶明るさ

スライダーを上下に動かす、または / アイコンで液晶モニターの明るさを設定します。再生モードからも同じ設定が選べます。

[ ]セットアップ

本機の環境設定などを行ないます。再生モードからも同じ設定が選べます。詳しくは「環境設定を変更する」（60 ページ）をご覧ください。



再生 / 消去する

- 再生する
- 画像を一覧表示する
(サムネイル表示)
- ズーム再生する
- 連続再生する（スライドショー）
- 画像を加工する（ペイント）
- 画像を保護する（プロテクト）
- 画像を消去する
- SD カードをフォーマットする



再生する

撮影した画像は、液晶モニターで見ることができます。

● 準備

SD カードをセットし、レンズカバーを閉じてください。

1 電源を入れる

再生モードで起動（➡22 ページ）すると、最後に撮影した画像が表示されます。撮影した画像が何もないときは、黒い画面に「画像がありません」と表示されます。

2 [≪◦]/[◦≫]アイコンをタップし、画像を切り換える



[≪◦]/[◦≫]アイコンをタップするたびに画像が切り換わります。

最後の画面が表示されているときに[◦≫]アイコンをタップすると、最初の画像に切り換わります。最初の画像が表示されているときに、[≪◦]アイコンをタップすると、最後の画像に切り換わります。

お知らせ

- 再生する画像は、方向ボタン（ ◀ / ▶）を押す、または液晶モニター上を左から右、右から左にドラッグしても切り換えられます。

ディスプレイ画面の表示 / 非表示を切り換える

再生モード中、[✽] キーをタップする

ディスプレイ画面の表示 / 非表示が切り換わります。

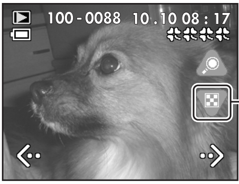
例



画像を一覧表示する(サムネイル表示)

サムネイル表示とは、撮影した画像を縮小して表示することです。画像が多いときなど、目的の画像を素早く探すことができます。

[ ] アイコンをタップする



画像がサムネイル表示されます。

サムネイルアイコン



画像が 7 コマ以上ある場合は、[ ]または[ ]アイコンをタップすると、画面がスクロールして他の画像を見ることができます。画面はスライダーを上下にドラッグしても、スクロールできます。

スライダー

お知らせ

- 再生モード中、方向ボタン（▼）を押す、または液晶モニター上を上から下へドラッグしてもサムネイル表示になります。

■ 選んだサムネイル画像を通常の大きさで表示するには

画像をタップすると、その画像が選ばれている状態になります。選ばれている画像をもう一度タップすると、その画像が通常の大きさで表示されます。また、方向ボタン（▲ / ▼ / ◀ / ▶）で画像を選び、ENTER ボタンを押しても、通常の大きさで表示されます。

ズーム再生する

撮影した画像を拡大して再生します。マルチ撮影した画像は、簡易動画再生します。

[ ] アイコンをタップする



ズームアイコン

画像が拡大されます。拡大される大きさは画像サイズによって異なります。

1600 x 1200 ：2.5 倍に拡大されます。
1024 x 768 ：3.2 倍に拡大されます。
640 x 480 ：2.0 倍に拡大されます。



画面の左上に黒枠と白枠が表示されます。外側の黒枠を画像全体として、内側の白枠は現在液晶モニターに表示されている部分を示します。

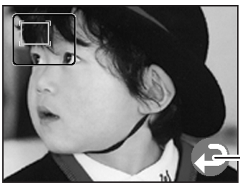
画面上をドラッグすると、画面に表示される部分が移動します。

お知らせ

- ズーム再生中に方向ボタン（▲ / ▼ / ◀ / ▶）を押すと、画面に表示される部分が移動します。

■ 通常の大きさに戻すには

をタップしてください。ドラッグ中はアイコンは表示されません。



タップすると、元の大きさに戻ります。

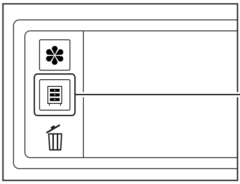
お知らせ

- ズーム再生中、ENTER ボタンを押しても通常の大きさに戻ります。
- 本機で撮影した画像以外は、ズーム再生できない場合があります。

連続再生する（スライドショー）

撮影した画像を、一つずつ連続で再生します。

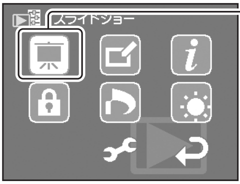
1 再生モード中、[目] キーをタップする



メニュー画面が表示されます。

メニューキー

2 [🖼] アイコンをタップする



スライドショーアイコン

スライドショーが始まり、約3秒ごとに次の画面へ切り換わります。

■ スライドショーを途中で止めるには

ENTER キーを押す、またはタッチパネルにタップすると、スライドショーが解除されます。

お知らせ

- スライドショーの実行中は、オートパワーオフが働きません。
  「オートパワーオフ」➡61 ページ

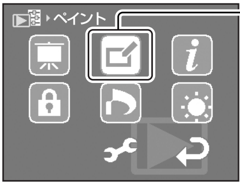
画像を加工する（ペイント）

色ペンツールを使って、撮影した画像に文字やイラストを描きこむことができます。

1 再生モード中、加工したい画像を選び、[ ] キーをタップする

メニュー画面が表示されます。

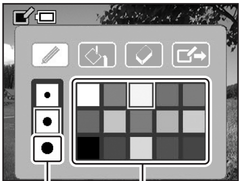
2 [ ] アイコンをタップする



パレットが表示されます。

ペイントアイコン

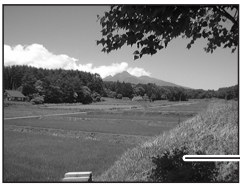
3 [ ] アイコンをタップし、ペンの太さと色を選ぶ



[ ]：ペンアイコン
[ ]：塗りつぶしアイコン
[ ]：消しゴムアイコン
[ ]：保存アイコン

カラーパレット
太さアイコン

4 [✽] キーをタップし、画像に書き込む



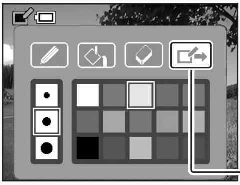
パレットが非表示になり、描画画面で画面に書いた通りに文字やイラストが入力できます。

[✽]キーをタップするたびに、パレットの表示/非表示が切り換わります。

描画画面

描画画面で[ ]キーをタップすると、一回前の操作を取り消すことができます。

5 パレットから［ ］アイコンをタップし、保存の確認画面が表示されたら［ ］アイコンをタップする



元の画像がコピーされ、入力した文字やイラストと合成されます。この画像は新しい画像として保存されます。このとき、元の画像は加工されていない状態でそのまま残ります。加工された画像の大きさは、すべて640 x 480 ピクセルになります。

お知らせ

- ［ ］キーをタップすると、メニュー画面に戻ります。加工した画像を保存していない場合は、保存の確認画面が表示されます。

■ 文字やイラストを修正する

1) パレットから［ ］アイコンをタップし、消しゴムの太さを選ぶ

2)［ ✽ ］キーをタップし、入力した内容を修正する

修正したい部分をなぞると、入力した文字やイラストが消えます。

お知らせ

- 一度保存した内容の修正はできません。

■ 選んだ範囲を塗りつぶす

1) パレットから［ ］アイコンをタップし、ペンの太さと色を選ぶ

2)［ ✽ ］キーをタップし、塗りつぶす範囲を囲む



○



×

囲み始め（始点）と終わり（終点）が重なるように選んでください。

3)［ ✽ ］キーをタップし、パレットから［ ］アイコンと塗りつぶす色をタップする

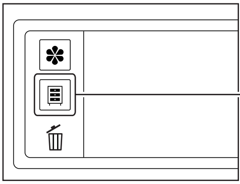
4)［ ✽ ］キーをタップし、囲んだ範囲内のどこか一点をタップする

囲まれた範囲が、選んだ色で塗りつぶされます。
始点と終点が重なっていない場合は、画像全体が塗りつぶされます。

画像を保護する（プロテクト）

撮影した画像を誤って消去しないように保護（プロテクト）できます。

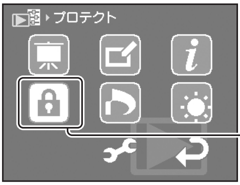
1 再生モード中、[ ] キーをタップする



メニュー画面が表示されます。

メニューキー

2 [ ] アイコンをタップする



設定画面が表示されます。

プロテクトアイコン

3 [ ]/[ ]アイコンでプロテクトする画像を選び、[ ]アイコンをタップする



プロテクトされた画像の下に[ ]マークが表示されます。

複数の画像を同時にプロテクトするときは、この手順をくり返します。

プロテクトアイコン

プロテクト解除アイコン

4 [ ]アイコンをタップする

設定が保存されます。

ご注意!

- SDカードをフォーマットすると、プロテクトした画像も消去されますのでご注意ください。
- DPOFが設定された画像の下には[ ](DPOF) マークが表示されます。このマークが表示されている画像は、自動的にプロテクトがかかっていて解除することはできません。DPOFについて、詳しくは「DPOFを設定する」(62ページ) をご覧下さい。

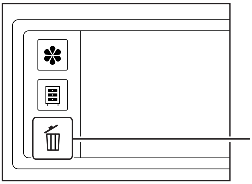
■ プロテクトを解除するには

設定画面でプロテクトを解除したい画像を選び、[ ]アイコンをタップします。

画像を消去する

撮影した画像を消去します。いらなくなった画像を消去すると、SD カードの空き容量を増やせます。

1 再生モード中、消去する画像を選び、[ ] キーをタップする



消去キー

消去モード画面が表示されます。

再生モード時：方向ボタン（◀ / ▶）で消去する画像をあらかじめ選んでおきます。

撮影モード時：最後に撮影した画像が表示されます。

2 [ ] アイコンをタップする



タップすると、元の画面に戻ります。

[ ]：保護されている画像を除く、SD カード内のすべての画像を消去します。

[ ]：表示中の画像を消去します。

消去の確認画面が表示されます。

3 [ ] アイコンをタップする



選んだ画像が消去されます。

[ ] アイコンをタップすると、元のモードに戻ります。

複数の画像を消去するときは、手順 1 ～ 3 をくり返します。

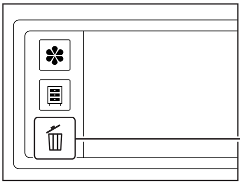
ご注意！

- 一度消去した画像は元に戻りません。消去する前に必ずご確認ください。
- 保護（誤消去防止）されている画像は消去できません。
  「画像を保護する（プロテクト）」➡ 46 ページ
- SD カードがロック状態のときは、消去できません。
  「SD メモリーカードについて」➡ 13 ページ
- DPOF 設定されている画像は消去できません。消去したいときは DPOF 設定を解除してください。➡ 62 ページ

SDカードをフォーマットする

フォーマット（初期化）を行うと、SDカードの内容がすべて消去されます。パソコンなどでフォーマットされたSDカードは、本機で正常に使用できない場合があります。このようなSDカードも、本機でフォーマットを行うと、正常に使用できるようになります。

1 [🗑] キーをタップする



消去モード画面が表示されます。

消去キー

2 [ ] アイコンをタップする



フォーマットアイコン

3 実行確認の画面から [ ] アイコンをタップする



SDカードがフォーマットされます。

フォーマットが終了すると、コマNo.をリセットするかどうか確認画面が表示されます。コマNo.をリセットしたいときは [ ] アイコンを選んでください。

タップするとフォーマットせず、元のモードに戻ります。

ご注意!

- SDカードがロック状態の場合、SDカードをフォーマットできません。ロックを解除してからフォーマットしてください。➡13ページ
- SDカードをフォーマットすると、プロテクトされている画像も消去されます。また、画像以外のデータもすべて消去されます。フォーマットする前に、必ずご確認ください。
- SDカードに異常がある場合は、正常にフォーマットできません。

パソコンと接続する

ソフトウェアについて
パソコンと接続するには
Windows パソコンに接続する
Macintosh パソコンに接続する
パソコンから本機を取りはずす
ACDSee™ を使ってみる
ファイルの構造について

ソフトウェアについて

本書では付属のソフトウェアのインストール方法と、アプリケーションの簡単な使い方を説明しています。詳しい使い方は、ソフトウェアアプリケーションのヘルプファイルをご覧ください。
パソコンの基本的な使用方法については、お使いのパソコンまたはOSの取扱説明書をご覧ください。

付属のソフトウェアについて

付属の CD-ROM には、以下のソフトウェアが収録されています。

- ACDSee™（画像閲覧ソフトウェア）
  撮影した画像をパソコンで見たり、画像の加工や修正もできます。ACDSee™ の詳しい操作方法はヘルプファイルをご覧ください。
  ⇨52、54、56 ページ
  ACDSee™ と本機以外の機器との接続は保証しておりません。本機以外の機器との接続、および ACDSee™ の操作に関しては、ACD Systems 社のオンラインサポートにお問い合わせください。
  ACD Systems 社オンラインサポート：OEM@ACDJAPAN.com
- Direct X（動画再生ソフトウェア）
  デジタルスチルカメラで撮影した動画ファイルが、Windows Media Player で再生できない場合にインストールします。（本機には動画機能はありません。）
- USB ドライバ（Windows® 98 専用）
  付属の USB ケーブルを使用して、本機とパソコンを接続するときにインストールします。このドライバは Windows® 98 専用です。Windows® 2000/ME/XP および Macintosh をお使いの場合は、インストールの必要はありません。各 OS の標準ドライバをご使用ください。
  「USB ドライバをインストールする」⇨52 ページ
- サービス＆サポートファイル
  サービスおよびサポートに関する情報が記載されています（取扱説明書の裏表紙の内容）。取扱説明書を紛失されたときなどのために、お使いのパソコンにファイルを保存することをおすすめします。
  「アフターサービスについて」⇨68 ページ

用語について

Windows 98
Microsoft® Windows® 98 operating system 日本語版を示します。
Windows 2000
Microsoft® Windows® 2000 operating system 日本語版を示します。
Windows ME
Microsoft® Windows® Millennium Edition operating system日本語版を示します。
Windows XP
Microsoft® Windows® XP operating system 日本語版を示します。

パソコンと接続するには

パソコンと本機を接続すると、撮影した画像をパソコンに転送して、加工したりインターネットを通じて第三者に送ったりできます。

接続の流れ

WindowsやMacintoshそれぞれの詳しい操作については、以降のページを参照してください。

ACDSee™をインストールする

ACDSee™は、パソコンで画像を見るためのソフトウェアです。付属のCD-ROMから、接続するパソコンにインストールします。

Windows® 2000/ME/XPまたはMacintoshをお使いの場合

USBドライバをインストールする

Windows® 98をお使いの場合、付属のUSBケーブルを使うには、USBドライバをインストールする必要があります。

パソコンと本機を接続する

付属のUSBケーブルを使って、本機とパソコンを接続します。

接続するパソコンの推奨環境

本機と接続するパソコンには、以下のシステム環境が必要となります。接続する前にお確かめください。

	Windows をお使いの場合	Macintosh をお使いの場合
CPU	Pentium®以上のプロセッサを推奨	Power PC G3 プロセッサ 266MHz 以上を推奨
OS	Windows® 98/2000/ME/XP プレインストールパソコン	Mac OS 9.0 以上（MacOS 9.2 以上を推奨） Mac OS X 10.1 以上（MacOS 10.1.3 以上を推奨）
メモリー	64MB 以上	
ハードディスクの空き容量	20MB 以上を推奨 （画像を扱うので、十分な空き容量があることをご確認ください。）	
カラーモニター	256 色、 800X600 ドット以上 32,000 色以上	
必要なデバイス	CD-ROM ドライブ、USB ポート	

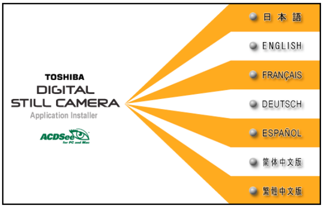
MacOS9.0、MacOS9.1 をお使いの場合、CarbonLib 1.3 以上が必要です。
アップルコンピュータ株式会社のウェブサイトから入手可能です。

※全てのパソコンとの接続を保証するものではありません。

Windows パソコンに接続する

対応 OS は、Windows® 98/2000/ME/XP です。USB ドライバのインストールは、Windows のバージョンによって異なりますので、インストールの際には十分にご確認ください。

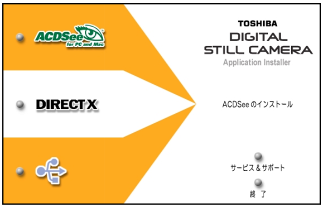
1 付属の CD-ROM を、CD-ROM ドライブに挿入する



表示言語を選ぶ画面が表示されます。

2 「日 本 語」アイコンをクリックする

3 「ACDSee for PC and Mac」アイコンをクリックする



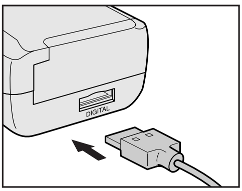
画面の指示にしたがって、ACDSee™ をインストールしてください。

インストールが完了すると、デスクトップ上に ACDSee™ のアイコンが表示されます。

Windows® 98 をお使いのときは

付属の CD-ROM から「USB」アイコンをクリックし、画面の指示にしたがってインストールしてください。

4 パソコンと本機が起動している状態で、USB ケーブルを接続する



パソコンの USB ポートと本機の DIGITAL 端子に、USB ケーブルを接続します。

USB ケーブルのプラグに表示された PUSH マーク側をタッチパネル側に向けて接続してください。

5 USB ドライバをインストールする

画面の指示にしたがって各 OS の標準ドライバをインストールしてください。
インストール終了後は、パソコンを再起動してください。

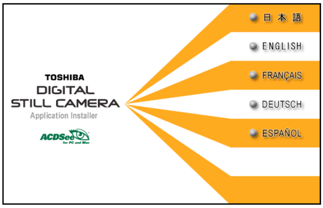
お知らせ

- 本機にUSBケーブルが接続されると、本機は「リムーバブルディスク」としてパソコン上に表示され、自動的に PC モードになります。
- USB ドライバがインストールされると、次からはUSB ケーブルを接続するだけでパソコンが本機を自動的に認識します。
- USBケーブルを接続するときは、端子の向きや形状に合わせて、それぞれ接続してください。
- 本機とパソコンを接続しているときは、オートパワーオフ機能は働きません。

Macintosh パソコンに接続する

対応OS は、Mac OS 9.0以上です。本機はUSB Mass Storage Classに対応しているので、Mac OS 9.0 以上では、USB ドライバのインストールは必要ありません。

1 付属の CD-ROM を、CD-ROM ドライブに挿入する



表示言語を選ぶ画面が表示されます。

2 「日 本 語」アイコンをクリックする

3 「ACDSee for PC and Mac」アイコンをクリックする

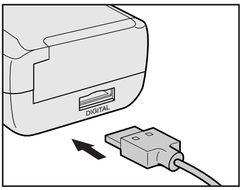


セットアップが開始します。

画面の指示にしたがって、ACDSee™ をインストールしてください。

インストールが完了すると、ACDSee フォルダがハードディスク上に保存されます。

4 パソコンと本機が起動している状態で、USB ケーブルを接続する



パソコンの USB ポートと本機の DIGITAL 端子に、USB ケーブルを接続します。

USBケーブルのプラグに表示されたPUSHマーク側をタッチパネル側に向けて接続してください。

お知らせ

- 本機にUSBケーブルが接続されると、本機は「名称未設定」ディスクとしてデスクトップ上に表示され、自動的に PC モードになります。
- USB ドライバがインストールされると、次からは USB ケーブルを接続するだけでパソコンが本機を自動的に認識します。
- USBケーブルを接続するときは、端子の向きや形状に合わせて、それぞれ接続してください。
- 本機とパソコンを接続しているときは、オートパワーオフ機能は働きません。
- 他のUSB ドライブと同時に使用すると、本機内のSDカードがデスクトップにマウントされない場合があります。この場合は、USBの接続を本機のみにしてご使用ください。

パソコンから本機を取りはずす

Windows® 98 をお使いのときは

本機の電源を切り、USB ケーブルをパソコンと本機から取りはずします。

Windows® 2000/ME/XP をお使いのときは

パソコンのデスクトップ上で、右下にあるタスクトレイの「 」をクリックし、メッセージにしたがって操作してください。操作が終了したら、USBケーブルをパソコンと本機から取りはずします。

Macintosh をお使いのときは

デスクトップ上の「名称未設定」(本機のフォルダ) をゴミ箱にドラッグアンドドロップし、USB ケーブルを本機とパソコンから取りはずします。

お知らせ

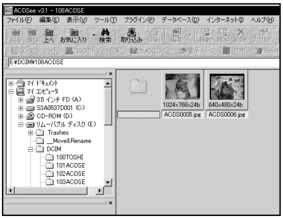
- USB ケーブルをパソコンから取りはずすときは、プラグの PUSH ボタンを押しながらゆっくり抜いてください。

ACDSee™を使ってみる

ACDSee™をインストールすると、本機で撮影した画像を一覧で表示したり、パソコンで加工した画像を本機に保存できます。

撮影した画像をパソコンにコピーする

1 パソコンと本機をUSBケーブルで接続する



ACDSee™が自動的に起動し、本機内のSDカードに記録されている画像が一覧表示されます。

2 コピーしたい画像を選び、「編集」メニューの「コピー」をクリックする



3 画像のコピー先を選び、「編集」メニューの「貼り付け」をクリックする

画像がコピーされ、選んだ先に表示されます。

ご注意！

- 画像転送中に本機の電源が切れると、データが破壊されるおそれがあります。本機をパソコンに接続するときは、ACアダプターのご使用をおすすめします。

■ パソコンと本機を接続してもACDSee™が起動しないときは

Windows®をお使いの場合

デスクトップ上の「ACDSee」アイコンをダブルクリックしてください。

Macintoshをお使いの場合

ハードディスク上の「ACDSee」フォルダを開き、「ACDSee」アイコンをダブルクリックしてください。

画像を本機にコピーする

本機で撮影した画像を加工して本機に戻したり、また、本機以外で撮影された画像もコピーできます。

1 パソコンと本機をUSBケーブルで接続する

ACDSee™が自動的に起動します。

2 本機にコピーしたい画像を選び「カメラにコピー」を選ぶ



Macintoshパソコンをお使いの場合は、コピーしたい画像をコピー先のフォルダにドラッグアンドドロップします。メッセージが表示されたら「はい」を選びます。

3 画像の変換サイズを選び、「OK」をクリックする



XXXACDSEフォルダに、ACDSXXXX.jpgという名称で、本機のSDメモリカードにコピーされます。

どんなサイズの画像でも、640 x 480のサイズでコピーされます。

サイズ変更はしないで、そのままの大きさでコピーされます。

コピーしようとする画像サイズによって、変更されるサイズは異なります。

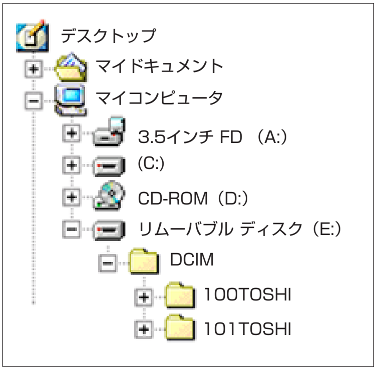
640 x 480より大きいサイズ	：	1024 x 768に変更されます。 1024 x 768よりも小さいサイズの画像の場合は、Windowsでは周囲に黒枠が表示され、Macintoshでは拡大表示されます。
640 x 480以下のサイズ	：	640 x 480に変更されます。 640 x 480よりも小さいサイズの画像の場合は、Windowsでは周囲に黒枠が表示され、Macintoshでは拡大表示されます。

お知らせ

- 「サイズ変更なし」を選んだ場合、画像サイズによって、本機で正常に表示できない場合があります。
- Macintoshパソコンで本機にコピーした画像は、どのサイズを選んでも、サムネイル表示できません。これはMacintoshパソコンのシステムの兼ね合いによるもので、本機の故障ではありません。
- ACDSee™の詳しい説明については、ヘルプをご覧ください。
- 本機以外で撮影された画像などを本機にコピーした場合、表示できないことがあります。

ファイルの構造について

本機とパソコンを接続すると、本機で撮影した画像は、右の図のように表示されます。(Windows で表示した場合)



[XXXTOSHI]

- TOSHI：本機で撮影した画像のフォルダであることを示します。
- XXX：100〜999のフォルダ番号が、状況に応じて割り当てられます。

ファイル名はPDR_XXXX.jpgです。(XXXX は 0001 〜 9999 の数字)

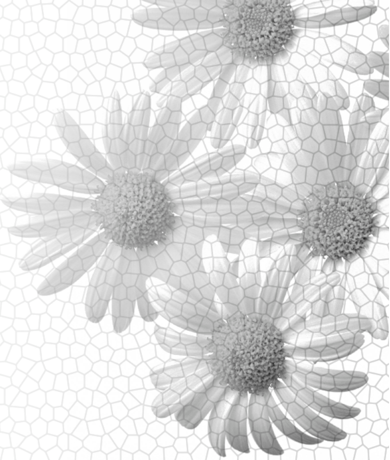
拡張子の「.jpg」はJPEGファイルであることを意味します。

JPEG とは、カラー画像を圧縮して保存するためのファイル形式のことです。圧縮率を選択できますが、圧縮率が高いと画質が劣化します。本機では、設定した画質によって圧縮率が決定します。

JPEG はパソコン用の画像ソフトやインターネット上で広く使われているファイル形式です。

撮影した画像は Exif フォーマットで保存されます。

Exif とは、Exchangeable Image File Format の略で、JEITA（電子情報技術産業協会)に承認されたデジタルスチルカメラ用のカラー静止画像フォーマットのことで、サムネイル画像（一覧画像）や撮影時の設定データを含むJPEG データです。TIFF（画像のフォーマットの１ つ）やJPEGと互換性があり、一般的なパソコン向け画像処理ソフトウェアで利用することができます。



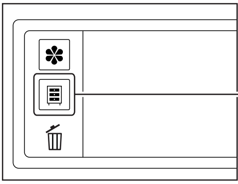
その他



環境設定を変更する

本機の環境設定を、お好みに合わせて変更できます。

1 [ ] キーをタップする

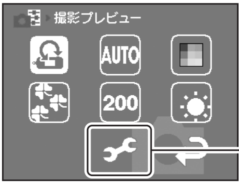


メニュー画面が表示されます。

メニューキー

2 [ ] アイコンをタップする

例：撮影モード中



セットアップ画面が表示されます。

セットアップアイコン

3 設定したい項目のアイコンをタップする



設定する項目について、詳しくは⇨61ページをご覧ください。

4 設定したい内容のアイコンをタップする

例：オートパワーオフを設定する場合



設定する内容について、詳しくは⇨61ページをご覧ください。

他の項目や内容を続けて設定するときは、3、4の手順を繰り返します。

タップすると、元の画面に戻ります。

5 [ ] キーをタップする

設定が保存され、再生/撮影モードに戻ります。

セットアップメニュー項目

オートパワーオフ

何も操作しない状態で設定した時間が経過すると、自動的に電源が切れます。
オートパワーオフを設定すると、無駄なバッテリーの消耗を防ぐことができます。

[1min]：約 1 分間でオートパワーオフします。
[3min]：約 3 分間でオートパワーオフします。
[5min]：約 5 分間でオートパワーオフします。

お知らせ

- スライドショー、PC モードのときは、オートパワーオフは働きません。

サウンド

キーまたはアイコンをタップしたときに、操作音のオン / オフを設定します。

[ ]：操作音を鳴らします。
[ ]：操作音を鳴らしません。

日時設定

日付と時刻を設定します。
詳しい設定方法については、「日付や時刻を設定する」(➡24ページ) をご覧ください。

Language

メニューやメッセージなど、液晶モニターに表示する言語を設定します。

[E]：表示言語を英語に設定します。
[J]：表示言語を日本語に設定します。
[F]：表示言語をフランス語に設定します。
[D]：表示言語をドイツ語に設定します。
[S]：表示言語をスペイン語に設定します。
[Cs]：表示言語を中国語の簡体字に設定します。
[CT]：表示言語を中国語の繁体字に設定します。

システム

[Ver.i]：本機のファームウェアのバージョンを表示します。
[ ]：SD カードの空き容量などが確認できます。
[ ]：コマNo.をリセットします。[ ]アイコンをタップすると、次回の撮影のときにコマ No. が 0001 から始まります。
[ ]：日時、言語以外の設定を、初期設定（工場出荷時の状態）に戻します。
[ ]：タッチパネルの位置のずれを調整します。
画面が表示されたら、「X」印の中心をゆっくりタップして調整します。2ヵ所タップしたら設定が保存され、セットアップ画面に戻ります。

DPOFを設定する

DPOF（Digital Print Order Format）とは、プリントのための情報を直接SDカードなどに記録することを定めた規格です。DPOF形式で保存した画像は、DPOF形式に対応したプリンタやラボプリントサービスでプリントすることができます。

1 再生モード中［ ］キーをタップする

メニュー画面が表示されます。

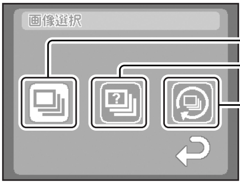
2 ［ ］アイコンをタップする



DPOF画面が表示されます。

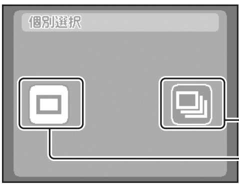
DPOFアイコン

3 ［ ］アイコンをタップする



画像選択アイコン
設定確認アイコン
オールクリアアイコン

4 ［ ］アイコンをタップする



個別選択画面が表示されます。

［ ］：1画像ごとに設定します。

［ ］：すべての画像に設定します。

全選択アイコン

個別選択アイコン

5 画像を選び、プリントしたい枚数を入力する



［ ］アイコンを選んだときは画像は選べません。

［ ］／［ ］：タップするたびに、画像が切り換わります。

［ ］／［ ］：タップするたびに、枚数が切り換わります。

複数の画像を設定するときは、手順3～5をくり返します。

枚数を入力したら［ ］アイコンをタップします。

6 設定したい内容のアイコンをタップする

[ ]：撮影した日付を一緒にプリントします。
[ ]：撮影した日付を一緒にプリントしません。

7 [ ] アイコンをタップする



DPOF ファイルが作成され、手順 3 の画面に戻ります。

タップすると、DPOF ファイルを作成せず、手順 3 の画面に戻ります。

お知らせ

- DPOF で設定できる枚数は、1 画像につき 99 枚までです。設定できる合計枚数は、9999 枚です。
- DPOF で同時に印刷指定できる画像は、最大 999 画像までです。
- 日付を一緒にプリントする場合は、日付は右下の隅にプリントされます。
- DPOF 設定された画像は自動的にプロテクトされます。プロテクトを解除するには、設定した情報を消去してください。

■ 設定した内容を確認するには

手順 3 の画面で［ ］アイコンをタップすると、枚数確認画面が表示されます。確認画面では枚数の変更ができません。設定を変更するには、手順 3 の画面で［ ］アイコンをタップして、設定をし直してください。

■ 設定した情報を消去するには

1) 手順 3 の画面で［ ］アイコンをタップする

消去するかどうか、確認画面が表示されます。

2)［ ］アイコンをタップする

設定した内容がすべて消去され、プロテクト解除の確認画面が表示されます。消去したくないときは［ ］アイコンを選んでください。

3)［ ］アイコンをタップする

プロテクトが解除されます。
［ ］アイコンを選ぶと、通常のプロテクトがかかった状態になります。

ご注意！

- 消去した情報は元に戻りません。消去する時にはご注意ください。

警告メッセージ一覧

液晶モニターは、次のような警告を表わすメッセージが表示されます。

メッセージ	意味
	バッテリーの残量が少なくなっています
	バッテリーの残量がほとんど残っていません
	バッテリーの残量がありません
カードがありません	SD カードが入っていません。
カードが一杯です	SD カードの空き容量がないので、撮影できません。
カードエラー	SD カードが壊れています。 SD カードのフォーマット（初期化）が正しく行われていません。
ライトプロテクトカードです	SD カードがロックされ、撮影できない状態です。
カードが初期化されていません	SD カードがフォーマットされていません。 （フォーマット実行画面に移ります。）
コマ No. が一杯です	フォルダ番号・ファイル番号が最大値になった状態です。
カード蓋が開いてます	バッテリー /SD カードカバーが開いています。
[]	この画像は本機で再生できません。
画像がありません	SD カードのなかに画像が何も入っていません。
プロテクトされています	プロテクトされている画像を消去しようとしています。
DPOF エラーです	DPOF 情報が異常です。
レンズカバー	レンズカバーが完全に開いていません。
レンズエラー	レンズに無理な力が加わっているか、レンズに異常があります。
ストロボが閉じています	ストロボがポップアップしていません。
[]	シャッター速度が遅く手ぶれを発生しやすい状態です。
[]	[]よりも更にシャッター速度が遅くなっています。
日時設定が完了していません	日時設定が完了していません。 （日時設定画面に移ります）
エラー：***	本機に何らかの問題が生じている可能性があります。 サポートセンターにご連絡ください（巻末参照）

故障かな？と思ったら

液晶モニターに表示される警告（➡64ページ)、インジケーターの色（➡15ページ)などを確認するとともに、次の項目をお調べください。

状況	原因	対処方法	ページ
電源が入らない	バッテリーが消耗している。	充電してください。	20
	ACアダプターの電源プラグが、コンセントから外れている。	電源プラグをコンセントに差し込んでください。	20
	バッテリーを入れる向きが間違っている。	バッテリーを正しい向きに入れてください。	19
バッテリーの消耗が早い	温度が極端に低いところで使っている。	バッテリーをポケットなどに入れて温かくしておき、撮影の直前にカメラに取り付けてください。	11
	端子が汚れている。	バッテリーの端子部分を乾いたきれいな布でふいてください。	21
	バッテリーの寿命	新しいバッテリーと交換してください。	19
シャッターボタンを押しても撮影できない	SDカードが入っていない。	SDカードを入れてください。	18
	SDカードに空き容量がない。	新しいSDカードを入れてください。 撮影した画像を消去して空き容量を増やしてください。	18 47
	SDカードがロック状態になっている。	ロック状態を解除してください。 新しいSDカードと交換してください。	13 18
	SDカードがフォーマットされていない。	SDカードをフォーマットしてください。	48
	SDカードが壊れている。	新しいSDカードを入れてください。	18
	オートパワーオフ機能が働いている。	電源を入れてください。	22
ストロボ撮影ができない	ストロボが発光禁止に設定されている。	発光禁止以外の設定にしてください。	32
	ストロボの充電中にシャッターボタンを押した。	充電が完了してからシャッターボタンを押してください。	28
ストロボが発光したのに再生画像が暗い	被写体が遠い。	被写体に近づいてください。	32
再生画像がぼやけている	レンズが汚れている。	レンズを清掃してください。	9
	撮影した画像のピントが合っていない。	被写体の距離に応じて、マクロ撮影を行ってください。	31
	手ぶれ状態で撮影された。	ぶれないように安定した台の上などに固定して撮影してください。	33
SDカードのフォーマットができない	SDカードがロック状態になっている。	ロック状態を解除してください。	13
1コマ消去ができない	画像が保護（プロテクト）されている。	画像の保護（プロテクト）を解除してください。	46
	SDカードがロック状態になっている。	ロック状態を解除してください。	13
	DPOF設定されている。	DPOF設定を解除してください。	62
設定した日時や内容が消えている	バッテリーを抜いて長時間放置した。	バッテリーを入れて日時の設定をやり直してください。	19 24

よくある質問

よくある質問をまとめましたので、参考にしてください。

Q シャッターボタンを押してもすぐに撮影できません。

A 半押しをしていますか？本機は半押しによって、フォーカスと露出を合わせます。半押しをしないでいきなりシャッターボタンを押しこむと、カメラはまず、フォーカスと露出を合わせようとします。そして適正値が見つかったところで撮影を行うので、シャッターボタンを押してから実際に撮影されるまでに時間差が発生します。

シャッターチャンスを逃さないためにも、半押しすることをおすすめします。半押しについては、「撮影する」（28 ページ）をご覧ください。

Q ピントがうまく合わないのですが。

A 本機では正確なオートフォーカス機構を採用しておりますが、次のような条件・被写体に対してはオートフォーカスが働きにくく、ピントが合わないことがあります。

- 高速で移動する被写体
- 鏡・車のボディーなど光沢があるもの
- コントラスト（明暗の差）が極端に低いとき（背景と同じ色の服を着ている人など）
- 被写体の手前や後方に物体があるとき（オリの中の動物や木の前の人など）
- 髪の毛や毛皮のように反射しにくいもの
- 煙や炎などの実体のないもの
- ガラス越しの被写体

また、本機では画面中央にピントを合わせているため、2 人並んだ人物のように中央に被写体がない場合は、背景にピントが合ってしまって人物がボケる可能性があります。このようなときは、以下のように撮影を行ってください。

1) 2 人の人物のうち、どちらかが画面の中央にくるようにカメラを動かします。

2) この状態で半押しをします。（このとき人物にピントが合います）

3) 半押しの状態のまま撮影したい構図に戻し、全押しします。

ピントが合わない場合は、無限遠（ストロボ使用時は約 1.5m ）にピントが固定されます。

仕様

撮像素子	1/2.7インチCCD センサー（有効画素数：約201万画素）
撮像感度	ISO100/200/400 相当
レンズ	2倍ズームレンズ F=2.8(W)/4(T)
焦点距離	f=5.8－11.6mm（35mm カメラ換算 38－76mm 相当）
オートフォーカス	TTL 方式 AF 焦点調整範囲：10cm ～∞（Wide端）、27cm～∞（Tele端） 検出方式：コントラスト
測光方式	撮像方式による TTL 測光方式
露出制御方式	プログラム自動露出
シャッター	1/2 ～ 1/1000 秒（風景モードは 4 ～ 1/1000 秒）
ホワイトバランス	自動 / マニュアル設定
撮影範囲	標準：約 50cm ～∞ マクロ：約 10cm(Wide 端)/ 約 27cm(Tele 端) ～∞
セルフタイマー	2 秒 /10 秒切り換え
ストロボ	オート / 強制発光 / 発光禁止 / 赤目軽減強制発光 調光方式：自動調光制御 撮影範囲：約 0.5 ～ 2.8m（ISO 200、Wide 端の場合）
日付･時刻	画像データに同時記録（Exif ファイルフォーマット）
自動カレンダー機能	2037 年までは自動調整
液晶モニター	1.5 インチ TFT カラー液晶（11.8 万画素）
入出力端子	DCIN 端子：DC5V　DIGITAL 端子：USB（Ver.1.1、Mass Storage Class 準拠)
電源	リチウムイオンバッテリー または AC アダプター
記録媒体	SD カード 8/16/32/64/128/256MB 対応
圧縮方式	JPEG 準拠
画像ファイルフォーマット	ExifVer.2.2 準拠
互換ルール	DCF Ver.1.0 準拠
使用環境	動作温度：＋5 ℃～＋40 ℃　保存温度：－20 ℃～＋60 ℃ 湿度:30 ～ 70% 結露しないこと
外形寸法	54mm x 108mm x 29.5mm （幅 / 高さ / 奥行き）突起部を除く
質量	約 170 g（付属品、バッテリー、SD カードを含まず）

- 意匠、仕様などは改良のため予告なく変更することがあります。
- 本取扱説明書に描かれているイラスト、画面表示などは見やすくするために誇張、省略があり実際とは多少異なる場合があります。

アフターサービスについて

保証書

保証書はお買い上げいただいたお店で所定事項の記入、および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
保証期間は、お買い上げの日より 1 年間です。

アフターサービス

調子が悪いときは、まず取扱説明書をご覧になりながらお調べください。
「故障かな？と思ったら」➪65ページ
それでも調子が悪いときは、お買い上げいただいたお店またはサポートダイヤルにご相談ください。

保証期間中の修理

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間後の修理

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

補修用性能部品について

- 当社は、本機の補修用性能部品を製造打ち切り後、8 年保有しています。
- 補修用性能部品とは、その商品の機能を維持するために必要な部品です。
- 修理のために取りはずした部品は、特段のお申し出がない場合は弊社にて引き取らせていただきます。
- 修理の際、弊社の品質基準に適合した再利用部品を使用することがあります。

修理を依頼されるときは次のことをお知らせください

- 型名 PDR-T20
- 故障の状況（できるだけ詳しく）
- ご購入年月日（保証書をご覧ください）
- お名前
- ご住所
- 電話番号

付属のCD-ROM の中に、サービスおよびサポートに関する情報（取扱説明書の裏表紙の内容）が書かれたファイルが収録されています。取扱説明書を紛失されたときなどのために、お使いのパソコンにファイルを保存されることをおすすめします。
ファイルを開くには、CD-ROM をCD-ROM ドライブに入れて言語選択画面で「日本語」をクリックしたあと、「サービス＆サポート」をクリックしてください。

索引

東芝製品の修理サービスはお買い上げの販売店が致します。
修理・お取り扱い・お手入れについてのご相談ならびにご依頼は
お買い上げの販売店にお申し付けください。

【ご転居されたり、ご贈答品などで販売店に修理のご相談ができない場合は】
『東芝家電修理ご相談センター』： **0120-1048-41**（フリーダイヤル）
フリーダイヤルは、携帯電話、PHSなど一部の電話ではご利用になれません。
電話受付 ： 365日・24時間受付

【デジタルスチルカメラに関するお問い合わせ】
使い方、故障、アプリケーションソフト等
『モバイルAVサポートセンター』
電話番号：0570-05-7000
FAX : 03-3258-0470
受付時間 ： 月〜土 10:00〜20:00（祝祭日、年末年始を除く）
ホームページ：http://www2.toshiba.co.jp/mobileav/camera/

株式会社 **東芝**
モバイルAVネットワーク事業部
〒105-8001 東京都港区芝浦1丁目1番1号
※住所・電話番号は変更になることがありますのでご了承ください

付属のソフトウェア“ACDSee™”に関するお問い合わせ
ACD Systems社オンラインサポート：OEM@ACDJAPAN.com

T20-0102